

令和2年度
教育の方針と事業
〔教育要覧〕

A policy and an enterprise of education



隠岐の島町教育委員会



〒685-0022

島根県隠岐郡隠岐の島町今津346番地2

TEL:08512-2-2206・2095・2126

FAX:08512-2-0619

目 次

I. 隠岐の島町の教育行政の推進にあたって	1
II. 方針	3
1. 学校教育行政の方針	5
2. 社会教育行政の方針	9
3. 公民館運営の方針	12
4. 図書館運営の方針	14
5. 学校給食センター運営の方針	17
III. 事業計画	19
1. 総務事業計画	21
2. 学校教育事業計画	22
3. 社会教育事業計画	29
4. 公民館事業計画	36
5. 図書館事業計画	39
IV. 指定文化財、各種委員名簿	43
1. 隠岐の島町の指定文化財	45
2. 隠岐の島町教育委員会の各委員	
教育委員会委員	49
事務評価委員	49
社会教育委員	50
文化財保護審議会委員	50
スポーツ推進審議会委員	51
屋内温水プール管理運営委員会委員	51
図書館運営委員会委員	52
総合体育館管理運営委員	52

スポーツ推進委員	・・・・・・・・・・・・・・・・	53
公民館運営審議会委員	・・・・・・・・・・・・・・・・	54
学校給食センター運営委員会委員	・・・・・・・・・・・・・・・・	55
V. 組織、予算等	・・・・・・・・・・・・・・・・	57
1. 隠岐の島町教育委員会機構図	・・・・・・・・・・・・・・・・	58
2. 隠岐の島町教育委員会職員配置図	・・・・・・・・・・・・・・・・	59
3. 隠岐の島町学校給食施設状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	60
4. 隠岐の島町立小・中学校一覧表	・・・・・・・・・・・・・・・・	61
5. 児童・生徒数の推移	・・・・・・・・・・・・・・・・	62
6. 令和2年度教育予算の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	64

I 隠岐の島町の教育行政の推進にあたって

教育長 野津 浩一

現在、新型コロナウイルス感染症の拡大により世界中が未曾有の事態に直面し、社会経済活動に深刻な影響をもたらしております。

このことは、本町の学校運営にも大きな影響を与えております。学校休業、各種大会の中止・延期などにより、当たり前に行っていたことが出来ない、頑張ってきた成果を発揮する場がない、学校生活の思い出が作れないなど、児童生徒の思いにたつと胸が痛みます。

いまだ見通しは立ちませんが、一日も早い収束を願うとともに、我慢を重ねた児童生徒の心身のケアを中心に、新たな目標に向かって踏み出せるよう、学校現場と一体となってこの難局を乗り越えたいと考えております。

学校教育も変革期を迎えています。一つには、今年度新たに「隠岐の島町学力向上対策推進プラン」を策定しました。このプランには“隠岐で育つ子どもたち一人ひとりが、学校での学びを将来の学びにつなげ、身に付けた『生きる力』をもとにたくましく生き抜いてほしい”という願いが込められています。このプランの実践に向けて学校、地域、行政が協力して推進できる体制の構築に努めてまいります。

もう一つは、GIGA スクール構想による、ICT を活用した教育の実践であります。一人一台の端末を十分活用できるよう、本町における推進計画をしっかりと議論をして作り上げることが重要であると考えています。

また、社会教育については、町民の方々が学習活動や体験活動、スポーツ・文化芸術活動などに親しみながら、生き生きと心豊かに暮らせる地域づくりに努めてまいります。

通常の日常生活が送れる事が前提ではありますが、しっかりとそれぞれの事業に取り組んでいきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

Ⅱ. 方針

A policy and an enterprise of education

- 学校教育行政の方針
- 社会教育行政の方針
- 公民館運営の方針
- 図書館運営の方針
- 学校給食センター運営の方針



Ⅱ-1 学校教育行政の方針

2020年、世界中に深刻な影響を及ぼしている「新型コロナウイルス感染症」により、社会を取り巻く環境は大きく変わってきています。本町においても、予定されていた行事やイベントのほとんどが中止又は延期を余儀なくされており、本町管内の小中学校運営についても、大きなダメージを受けているところです。児童生徒をはじめ、教職員の健康はもとより、一日も早い終息を願うばかりです。

本年度の方針を下記のとおりまとめましたが、上記の感染拡大防止対策により大きく変更することが予想されます。

これからの社会は、人工知能（AI）をはじめとする急速な技術改革やグローバル化の一層の進展など、大きく変化することが予想されます。人口の減少や高齢化が進む本町においても、子どもを取り巻く環境の変化は依然として深刻な状況が続いています。

こうした中、国では学習指導要領が改訂され、令和2年4月より小学校から順次全面実施されることになりました。新学習指導要領では「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という理念を共有し、社会と連携・協働しながら未来の作り手となるために必要な資質や能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現が重視されています。また、「知識及び技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養を通して、児童生徒一人ひとりの「生きる力」の育成に努めることが求められています。

今年度、本町では、児童生徒一人ひとりに、自らの人生と地域や社会の未来を切り拓くために必要となる「生きる力」を育むため、学校・家庭・地域がその目標を共有し、協働を図りながら本町の教育を高めていく「教育の魅力化」について、県の指導を仰ぎながら、積極的に推進していきます。

児童生徒の「生きる力」の育成や様々な課題を克服するため、次に掲げる事項の推進に取り組んでいきます。

第1は、「確かな学力を育む教育の推進」であります。児童生徒一人ひとりが主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、基礎的・基本的な知識・技能の習得はもとより、思考力・判断力・表現力等を培う教育を進めます。

第2は、「豊かな心と健やかな心身を育む教育の推進」であります。児童生徒に生命を大切にするとともに、健康の保持増進や体力の向上を図る教育を進めます。

第3は、「子どもたちの学びを支える取組の推進」であります。問題を抱える児童生徒のニーズに対応するため、関係機関等との効果的なネットワークや早期の問題解決に向けた支援体制を整備するとともに、安心して過ごせる居場所づくりなど個々の実態に合わせた支援を行います。また、特別な支援が必要な児童生徒のために、一人ひとりのニーズの把握とそれに応じた指導をきめ細かにを行い、特別支援教育を推進します。

第4は、「教育環境の整備」であります。築30年以上経過した施設が多く、全体的に老朽化・機能低下が進行しており、教育環境の質的改善を計画的に行っていくため昨年度策定した長寿命化計画に基づき、環境整備を進めてまいります。具体的には、近年夏の厳しい気象条件に対応した教育環境を確保するため、昨年度の小中学校の普通教室空調設備整備に続き、特別教室の新設を図る他、校舎・体育館照明のLED化などの安全・安心で快適な学習環境の整備に着手します。また、校内通信ネットワーク整備、教育情報化整備計画策定などの学びを支える基盤となるICT教育環境整備を進めてまいります。

第5は、「魅力ある学校づくりの推進」であります。ふるさと教育やジオパーク学習を積極的に進め、ふるさとの自然・歴史・文化や人の営みを理解し、ふるさとへの愛着と誇りを育む教育を推進します。また、豪州高校との国際交流や中学生の各種大会への参加費補助など離島の地理的ハンデを克服できるよう支援を行い、児童・生徒が本町の魅力を誇りに感じられる学校づくりを目指します。

また、児童数減少に伴う複式学級を有する小学校には複式学級指導の教材研究の時間を確保するため非常勤講師を配置し、教員の負担軽減を図るとともに、地域と連携した活動を推進します。

第6は、「高校魅力化事業」であります。生徒数の著しい減少が見込まれる中で、町内の県立学校と町行政、教育委員会をはじめ関係団体が連携することにより、県立学校の魅力増進と活力のある学校づくりを支援します。

【重点施策】

1. 確かな学力を育む教育の推進

(1) 学力向上対策事業

① (新) 学力向上指定研究事業

- (2) 学校図書館充実事業
- (3) 英語指導事業（ALT派遣）
- (4) 教材整備事業
- (5) 各種研究指定事業
 - ① 人権教育推進指定校事業（西郷中学校）
 - ② （新）幼小連携・接続研究事業（五箇小学校・ごか保育園）
 - ③ （新）複式教育推進指定校事業（北小学校）
- (6) 主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善プロジェクト
(都万小学校)
- (7) 小学校英語専科教員配置事業
- (8) （新）教育情報化整備計画策定事業
- 2. 豊かな心と健やかな心身を育む教育の推進
 - (1) 各種検診事業
- 3. 子どもたちの学びを支える取組の推進
 - (1) 教育相談事業
 - ① スクールソーシャルワーカー配置事業
 - ② スクールカウンセラー配置事業
 - ③ いじめ対応支援事業
 - ④ 特別支援教育体制整備推進事業（相談支援チーム）
 - ⑤ 就学相談（隠岐教育支援委員会）
 - ⑥ 相談支援事業（子育てサポートファイル）
 - (2) 教育支援センター「スマイル」運営事業
 - (3) 特別な支援のための支援員配置事業
 - (4) にこにこサポート事業／スクールサポート事業（県費負担非常勤講師配置）
 - (5) 特別支援コーディネーター配置事業
 - (6) 就学援助費・特別支援教育就学奨励費支給事業
 - (7) （新）キャリアパスポート事業
- 4. 教育環境の整備
 - (1) 学校施設修繕
 - ① （新）小学校校舎・体育館 LED 化事業
 - ② （新）中学校体育館 LED 化事業
 - (2) 有木小学校大規模改修事業（R1年度 繰り越し事業）
 - (3) 小学校児童用机・椅子購入事業

- (4) 小中学校空調設備整備事業（特別教室）
- (5) (新) 教育情報化推進事業（小中学校校内通信ネットワーク整備事業）
- 5. 魅力ある学校づくり事業
 - (1) ふるさと教育（竹島学習を含む）
 - (2) 修学旅行費補助事業
 - (3) 中学校各種大会等参加費補助事業
 - (4) 国際交流補助事業（豪州交流支援）
 - (5) 複式教育推進事業
- 6. 高校魅力化事業
 - (1) 高校オープンスクール参加助成事業
 - (2) 高校学習支援補助事業（学力向上対策）
 - (3) 高校寮費補助事業
 - (4) 高校部活動遠征費助成事業
 - (5) 高校研修旅行助成事業
 - (6) (新) 地域みらい留学助成事業
 - (7) 高校魅力化コーディネーター配置事業（隠岐高2名／隠岐水高1名）

Ⅱ-2 社会教育行政の方針

地域社会を取り巻く状況が変化した今、行政と地縁組織、民間グループや団体などが相互に連携を深めることにより、活気ある地域づくりを目指す取り組みが求められています。このような中、社会教育の重要性は益々高まっています。地域住民同士が学び合い、共に活動し合う相互学習活動により、教養の向上、健康の増進等を図るとともに、人と人との絆を深め、様々な地域の課題に向き合う力を育みます。社会教育行政は、こうした学習活動が活発に行われるよう、その環境づくりを支援する役割を担っています。

本町では、現代の様々なニーズに応じた学習支援を行えるよう、(公財) 隠岐の島町教育文化振興財団等の社会教育施設指定管理団体との連携を強化し、社会教育推進体制を充実させるとともに、町民自らが主体的に地域課題を見つけ、その解決策を学ぶことにより、積極的に地域に貢献しようとする「人づくり」や「仲間づくり」の活動を支援してまいります。

これにより、地域が抱える様々な課題に積極的に向き合うことのできる人材を育成し、学びの成果が豊かな地域づくりに活かされるよう、適切な学習情報と機会を提供し、町民一人ひとりが生き生きと学習できる環境を整備していきます。

また、「教育の魅力」が「地域の魅力」につながるよう、学校、家庭、地域及び行政が連携協力し、地域全体で子どもたちの豊かで健やかな心身を育む体制づくりを支援するとともに、本町の豊かな自然環境や歴史文化を有効に活用し、ふるさとに愛着と誇りをもつ子どもたちの育成を図ります。

本町には、ユネスコ世界ジオパークに認定された固有の自然環境、風土が育んだ独自の歴史を今に伝える貴重な文化財が数多く残っています。これらを適切に保護し、次世代に継承するとともに、積極的な公開・活用に努めてまいります。

スポーツ振興につきましては、子どもから高齢者まで積極的に健康づくりや競技力向上に取り組めるよう環境づくりに努めてまいります。

【重点施策】

1. 社会教育の振興

- (1) 生涯学習推進計画の検証と次期計画策定の取組
- (2) 地域における社会教育実践者、社会教育担当職員の研修
- (3) 家庭、学校、地域の連携による青少年教育事業
 - ・地域学校協働活動支援事業（地域コーディネーター・学校サポーター活動）
 - ・放課後支援事業（7教室）
 - ・家庭教育支援事業（親楽ファシリテーター活動）
- (4) 地域の資源や人材を活かしたふるさと教育の推進（竹島学習を含む）
- (5) 社会教育関係団体の育成及び活動支援
- (6) 人権・同和教育の推進
- (7) 指定管理者等との連携による教育文化施設の整備と有効活用
隠岐島文化会館レギュレーター交換事業

2. 社会体育の振興

- (1) 生涯スポーツ推進計画の策定
- (2) 生涯スポーツ推進のための人材育成
- (3) 社会体育関係団体等の育成及び活動支援
- (4) 社会体育施設の整備と有効活用
 - ・指定管理者等との連携による各社会体育施設の活用促進
 - ・各社会体育施設の設備更新及びスポーツ器具整備
プールクリーナー更新事業
西郷武道館柔道畳更新事業（2ヵ年事業の内2年目）
- (5) 障がい者スポーツの推進
- (6) 一流アスリートを招き「健康づくり」をテーマにしたイベント
つなGO 隠岐の島実施事業

3. 文化財の保護と活用

- (1) 文化財の保護
 - ・指定無形民俗文化財保存事業補助金交付事業
 - ・牛突き習俗保存対策事業（突き牛導入促進・処分輸送費補助）
 - ・埋蔵文化財発掘調査事業（黒曜石原産地遺跡発掘調査）
 - ・文化財指定事業（調査及びデータベース整備）

(2) 文化財の保護と活用及び普及啓発事業

- ・ 史跡隠岐国分寺境内保存活用整備事業（策定委員会開催）
- ・ 国府尾城活用整備事業（検討委員会、講演会開催及び現地文献調査）
- ・ 古文書整理保存事業（検討委員会開催及び調査）
- ・ 「隠岐の文化財」発刊事業（4箇町村共同出版）
- ・ 指定文化財説明看板設置事業

(3) 天然記念物の保護

- ・ 天然記念物樹勢モニタリング事業

4. 図書館の管理と活用

(1) 図書館の利用促進

- ・ 指定管理者等との連携による図書館の利用促進

(2) 図書館振興計画の計画進捗度の検証と実績の評価

- ・ 図書館振興計画の施策と事業の実施及び検証と評価
- ・ 図書館振興計画の数値目標に基づく図書館資料の整備

(3) 図書館の施設整備及び備品整備

- ・ 新図書システム更新による運用

(4) 読書活動の普及推進

- ・ 子ども読書活動推進計画に基づく事業の実施及びその検証と評価
- ・ ブックスタート事業

5. 文化芸術活動の普及推進

(1) (公財)隠岐の島町教育文化振興財団及び関係団体との連携による文化芸術公演等鑑賞機会の提供（随時）

(2) 各種文化芸術活動に対する支援

- ・ 地域と中学校の文化部活動支援事業
- ・ 歴史文化事業促進補助

Ⅱ-3 公民館運営の方針

隠岐の島町立公民館は、各地区に分館体制を整備し、地域の生涯学習の場として中心的役割を果たしてきました。

今日、急速に進む少子・高齢化、情報技術の進展、雇用形態の変化などにより、地域を取り巻く社会環境が大きく変化する中で、人間関係の希薄化や次世代を担う子どもたちの育成をはじめとした地域の諸課題の解決に向けた取り組みが急務となっています。

本町では、平成28年3月に策定された隠岐の島町教育大綱の基本目標のもと、地域住民の生きがいを見出すための講座や教室の拡充などの生涯学習の推進や、学校・家庭・地域と連携を図りながら、ふるさと教育などによる青少年育成の推進に努めます。さらに、地域資源を活用し、地域づくりに主体的に参画しようとする人づくりを進めるために、地域が抱える課題に対応し、地域力を高める人材や団体の育成を図り、学びの成果が地域づくりに活かされる公民館活動を推進します。

1. 地域住民の生涯学習を推進するために、学習ニーズに応じた各種講座・教室・学級などの開設に努めます。
2. 地域全体で子どもたちを育むために、家庭・地域・学校と連携を図りながら、地域の教育資源「ひと・もの・こと」を活用し、ふるさとに愛着と誇りを持てる青少年の育成に努めます。
3. 分館や関係団体と連携を深め、公民館が地域コミュニティづくりの拠点となるよう努めます。
4. 地域住民とともに、地域が抱える課題に対する理解を深め、課題解決に向けた人材や団体の育成を図る取り組みを進めます。

【重点施策】

1. 生涯学習の推進
 - (1) 学習情報の収集及び提供
 - (2) 分館活動支援事業
 - (3) 公民館講座
 - (4) ジオパーク学習及びふるさと教育（竹島学習を含む）
 - (5) 高齢者教室等

- (6) 公民館なんでもマナビィ講座
- (7) 体育団体支援（体育協会）
- 2. 地域の教育力の向上
 - (1) こども教育推進（あいさつ運動・・・各種事業を通じて、ふるまい向上）
 - (2) 児童生徒地域見守り事業
 - (3) 地域力醸成事業（冬期体力づくり教室）
- 3. 家庭教育・青少年教育の充実
 - (1) 家庭教育支援事業
 - (2) 青少年の育成と活動の推進事業
 - (3) 地域青少年育成事業
- 4. 文化芸術活動の推進
 - (1) 文化祭の開催
 - (2) 読書普及事業
- 5. 人権・同和教育の推進
 - (1) 人権・同和教育の推進
- 6. コミュニティ活動の推進
 - (1) コミュニティ活動の推進事業
- 7. その他関連事業
 - (1) 社会教育施設の管理と活用

Ⅱ-4 図書館運営の方針

【基本理念】 「町民の暮らしに生きる図書館」

隠岐の島町図書館は、文化的な生活の核となる施設として、人と人とのつながり・ゆとり・やすらぎの場となるよう努めます。同時に、生涯学習施設として、図書館資料や情報の提供をとおして、すべての人の知る自由を保障します。

また、町民が自主的に学習できる環境を整備することにより、一人ひとりの成長や地域課題の解決につながることで、より豊かなまちづくりに貢献します。

【基本目標】

1. まちの情報拠点としての図書館づくり
2. すべての町民の学びを支える図書館づくり
3. 人と人との交流とまちづくりを支える図書館づくり
4. 安心・快適な図書館づくり

【基本施策】

1. まちの情報拠点としての図書館づくり
 - (1) 図書館資料の提供
 - ・ 図書館資料の整備
 - ・ 図書館資料の収集のための情報発信
 - ・ 図書館資料の提供
 - ・ テーマ毎の館内での図書館資料紹介
 - ・ 「まちの情報ひろば」で情報の発信【重点施策】
 - ・ 郷土資料の保存公開【重点施策】
 - (2) 視聴覚資料の充実
 - ・ DVDへの更新
 - ・ 音楽CD、朗読CDの整備
 - (3) リクエスト制度活用の周知
 - ・ 広報誌や利用案内等による利用者への周知

- (4) 図書館情報の発信
 - ・ 広報誌での情報発信
 - ・ 図書館ホームページでの情報発信
 - ・ 防災行政無線（町内放送）での情報発信
 - ・ 図書館年報の作成及び配布

2. すべての町民の学びを支える図書館づくり

- (1) 乳幼児期からの図書館利用の啓発
 - ・ 親子読書の啓発活動
 - ・ ファミリータイムの設定
 - ・ しまね子育て絵本の貸出
 - ・ 子どもの読書を推進する活動
 - ・ ブックスタート、ブックスタートプラスの実施
- (2) 児童生徒の読書活動の支援
 - ・ 学校の教員及び学校図書館司書との連携
 - ・ 中高生向け図書館通信「プレジャー」の発行
- (3) 働き盛り世代の図書館利用の促進
 - ・ ビジネス、就労関連情報の充実
 - ・ 利用登録者率の向上
- (4) 高齢者や障がい者の読書環境の保障
 - ・ 公民館図書室との連携
 - ・ 大活字本、朗読CD及び拡大鏡の整備

3. 人と人との交流とまちづくりを支える図書館づくり

- (1) 地域の課題への対応の充実
 - ・ 地域課題対応のための講座開催
- (2) 施設の有効利用と他施設との連携
 - ・ 研修室の多目的利用
 - ・ 交流カフェ開催
- (3) 施設を活用した催し等の開催
 - ・ 図書館開放事業
 - ・ 住民主体事業への協力
 - ・ 展示コーナーの活用

- ・ 図書館まっりの開催

4. 安心・快適な図書館づくり

(1) 柔軟な開館時間の設定

- ・ よるとしよの開催
- ・ 臨時開館の試み（規則上休館となっている1月4日午後の開館）

(2) 職員の資質や専門性の向上

- ・ 各種研修会への参加や他館との交流研修
- ・ 職員研修会の開催

(3) ボランティアとの連携

- ・ ボランティアの協力を得た取組みの充実
- ・ ボランティアとの定期的な情報交換

(4) 図書館のバリアフリー化

- ・ 館内設備の整備
- ・ 多言語対応

Ⅱ-5 学校給食センター運営の方針

学校給食は、児童・生徒の心身の健全な発達に資することを目的に、学校教育の一環として食に関する指導（食育）の役割・推進も担っています。

児童・生徒が食に関する理解を深め、日常の生活で実践していくことができるようになるために、家庭や地域との連携を図りつつ食に関する指導や食育推進の啓発活動を行います。

成長期にある児童・生徒に栄養バランスの取れた給食を提供することにより、健康の増進と体力の向上を図りながら、児童・生徒一人ひとりが「食べる知恵」を身につけ、健康な心身を育てるために、安全・安心で地元食材をふんだんに使った美味しく魅力ある学校給食を提供します。

また、学校給食の運営にあたっては食中毒の防止をはじめとした衛生管理の徹底を最優先し、適切な施設設備の維持管理を行うと共に、食物アレルギーの原因物質を取り除いた除去食の安全な提供を含めた給食内容の充実を図り、生活習慣病の予防に努めます。

更に、現在の給食の質を落とすことなく、今年度より、子育て支援策強化の一環として給食費の公費負担額を増額し、保護者負担の軽減を図ります。

【重点施策】

1. 食育の充実

(1) 給食費の公費負担額を増額し、保護者負担の軽減を図ります。

(2) 食育教育の推進

養護教諭、学校栄養士を中心に食に関する指導を行います。

(3) 地産地消の推進

地場産物を取り入れた「ふるさと給食」を月1回以上の実施を目指し、教材として活用することで、食育の実践、郷土食、伝統食の伝承に努めます。

(4) 「食育月間」「食育の日」「しまね家庭の日」の普及

家庭における食育推進の啓発活動に努めます。また、学校給食の重要性についての広報活動を強化します。

(5) 『学校給食魚食普及事業』の実施

毎月1回以上、隠岐産の魚介類を給食に取り入れ、その食材の特徴などを紹介することで魚食及び漁業への理解を深めます。

2. 衛生管理の徹底

給食調理業務及び配送業務は民間委託をしています。安全・安心な給食提供のため、受託者と協力し徹底した衛生管理を行います。

3. 食物アレルギーの対応

食物アレルギー対応マニュアルに基づき、アレルギーに対して正しい知識を持つとともに、対応食から緊急時まで関係者の連携を密にし、対象児童生徒が安心・安全に学校生活を過ごせるよう努めます。

4. 児童・生徒の生活リズムの改善及び生活習慣病予防

日本型食生活の実践や「食生活指針」「食事バランスガイド」の活用を推進します。

5. 給食費の滞納整理強化

給食についての理解を深める活動を強化しながら、給食費の滞納がないよう滞納整理に努めます。

Ⅲ. 事業計画

A policy and an enterprise of education



III-1 総務事業計画

1. 会議及び啓発

(単位：千円)

事業名	事業のねらい・内容	参加対象及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
教育委員会 の会議の開催	教育行政に関する重要な事項について審議決定する。	教育委員 (5名)	年間12回	教育委員会 本庁・支所	1,109
総合教育会議 の開催	教育行政重要施策の検討及び緊急に講ずべき措置の協議。	町長 教育委員 (5名)	随時	教育委員会 本庁・支所	
学校及び社会 教育施設の視 察	小・中学校及び社会教育施設の視察を実施し、経営状況等について現状把握を行い、学校教育並びに社会教育の充実に努める。	教育委員 教育長 関係機関 及び団体等	随時	小・中学校 公民館等社 会教育施設	
教育委員 研修会	県主催の教育研修会に参加し県及び隠岐郡各町村の教育行政をめぐる諸問題について研究協議する。	県教育長 県担当者 教育委員	8月	隠岐の島町	7
教育委員 研修事業	島根県市町村教育委員会連合会総会及び研修会	教育委員 (5名)	7月 (中止)	県内	74
教育委員会事 務部局職員研 修会の開催	教委事務局職員を対象に、教育行政職員としての資質向上と研鑽を積むための研修会を開催する。	教委事務 局職員	年間1回	教育委員会	
学校・教委 連絡会	学校と教委事務局との連携を深めるとともに、諸課題に対して共通の認識をもって協議する。	教育長 学校長 教委事務 局職員ほか	年間5回	教育委員会	
広報の発行	町総合誌により、教育の現状や課題について一般住民の理解を深めると共に教育現場での優れた研究実践等を紹介する。	管内	年間 (町総合誌)	教育委員会	
ホームページ への掲載	教育委員会の施策及び事業に関する情報を島内外に広く発信する。	教育委員会 職員	年間	教育委員会	
教育の方針と 事業発刊	「教育の方針と事業（教育要覧）」の発刊	関係機関 及び団体等	6月		15
事務の管理執 行状況につい ての点検評価	主要な施策や事務事業の取り組み状況について点検評価を行い、効果的な教育行政の推進を図るとともに報告書を議会に提出し、公表する。	事業評価委 員(5名) 教委事務 局職員	6月 9月		118

Ⅲ－２ 学校教育事業計画

1. 確かな学力を育む教育の推進

(単位：千円)

事業名	事業のねらい・内容等	参加対象及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
(1) (新)学力向上対策事業	○学力向上指定研究事業 ○全国・県・町学力調査の実施と分析 ○プロジェクト会議・専門部会の設置 ○教職員研修の実施 ○学習プリント教材の活用 ○派遣指導主事の配置 ○生活習慣の改善のためのチラシ作成・配布 ○事業の検証	児童生徒 保護者 教員	4～3月	小中学校	3,802
(2) 学校図書館充実事業	○学校司書・学校図書館支援員の配置 ○図書の購入	児童生徒 保護者 教員	4～3月	小中学校	25,324
(3) 英語指導事業 (ALT派遣)	英語教育の充実と国際理解の推進を図るため、ALT (外国語指導助手) を各学校へ派遣し、英語の授業の補助等を行う。	児童生徒	年間	小中学校	16,375
(4) 教材整備事業	学校で使用する教材等の整備を行う。	児童生徒 教員	4～7月	小中学校	8,511
	教育用パソコンの整備	生徒	年間	中学校	375
(5) 各種研究指定事業	<県教委指定事業> 人権教育研究指定校事業	生徒 教員	年間	西郷中学校	0 (県負担)
	<県教委指定事業> (新) 幼小連携・接続研究事業	児教 童員	年間	ごか保育園 五箇小学校	210
	<県教委指定事業> (新) 複式教育推進指定校事業	児教 童員	年間	北小学校	310
(6) 主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善プロジェクト	子どもたちが目指す力を身に付けられるよう授業改善や教材開発に取り組む	児教 童員	年間	都万小学校	0 (県負担)

事業名	事業のねらい・内容等	参加対象及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
(7) 小学校英語専科教員配置事業	小学校に英語専科指導教員を配置し、新学習指導要領における質の高い英語教育を行う	児童 教員	年間	小学校	0 (県負担)
(8) (新) 教育情報化整備計画策定事業	小中学校で ICT 機器を効果的に導入・活用するための整備計画の策定	児童生徒 教員	年間	小中学校	4,950

2. 豊かな心と健やかな心身を育む教育の推進

(単位：千円)

事業名	事業のねらい・内容等	参加対象及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
(1) 各種検診事業	耳鼻科・眼科検診	小中全学年	5・6月 (延期)	小中学校	899
	心電図検査	小学校 1・4年生 中学1年生	5・6月	小中学校	1,317
	尿検査	小中全学年	5・6月	小中学校	
	血液検査	小学校5年生 中学校2年生	5・6月	小中学校	
	就学時健康診断	次年度 新1年生	11月	小学校	

3. 子どもたちの学びを支える取組の推進

(単位：千円)

事業名	事業のねらい・内容等	参加対象及び人員等	実施時期	実施場所	予算額	
(1) 教育相談事業	スクールソーシャルワーカー配置事業	専門的な知識や技術を有する者をスクールソーシャルワーカーとして配置し、児童生徒の置かれている環境への働きかけや関係機関との連絡調整など総合的な支援を行う。	児童生徒 保護者 教員	年間	小中学校	684
	スクールカウンセラー配置事業	児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有する者をスクールカウンセラーとして配置し、教育相談体制や生徒指導の充実を図る。	児童生徒 保護者 教員	年間	小中学校	0 (県負担)
	いじめ対応支援事業	アンケートQUを実施し、個人、学級集団の状態を学校全体が共通指標をもって把握、分析することにより、いじめ等生徒指導上の諸課題の早期発見、未然防止を図る。	児童生徒 教員	年間	小中学校	502
	特別支援教育体制推進事業 (相談支援チーム)	関係機関が連携し、乳幼児期から学校卒業後までの発達障がいを含む全ての障がいのある幼児児童生徒の特別支援教育を総合的に推進する。	幼児児童 生徒 保護者 教員	年間		38
	就学相談 (隠岐教育支援委員会)	隠岐郡内の障がい等のある幼児児童生徒の教育相談、適切な就学判定を行い、特別支援教育の充実を図る。	幼児児童 生徒 保護者	5～3月		168
	相談支援事業	○子育て手帳、相談支援ファイルを配布し、関係機関の連携による一貫した支援の充実を図る。 ○幼児からの聴力検査が可能なオージオメーターを活用し、聴覚障がいの早期発見を図り、適切な支援を行う。	幼児児童 生徒 保護者	年間		10

事業名	事業のねらい・内容等	参加対象及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
(2) 教育支援センター「スマイル」運営事業	長期間にわたり学校を欠席している児童生徒に対し、社会的自立に必要な適応力を身に付けたり、居場所を提供するなど、個々の実態に応じた支援を行う。	児童生徒 保護者	年間	教育支援センター「スマイル」	4,308
(3) 特別な支援のための支援員配置事業	発達障がいなど、特別な教育的支援を要する児童生徒に対する支援体制の整備を図る。	児童生徒	年間	小中学校	14,994
(4) にこにこサポート事業／スクールサポート事業 (非常勤講師配置)	小学校の通常の学級に在籍する ADHD、LD、高機能自閉症等発達障がいのある児童に対して、特別な支援のための非常勤講師を配置し、生活上や学習上の困難を改善・克服するために必要な支援を行う。 小人数学級編成と課題解決のための教員加配をセットにして行うことにより、実情に応じた、きめ細かい教育を推進する。	児童	年間	小学校	0 (県負担)
(5) 特別支援コーディネーター配置事業	発達面の気になる子どもの早期からの支援と、就学後の適正な支援が受けられるよう関係機関の連絡調整や、体制整備を行う。	児童生徒 教員 保護者	年間	保育所 小中学校	3,515
(6) 就学援助費・特別支援教育就学奨励費支給事業	経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者を対象に、医療費、学用品費、給食費等を援助し保護者の負担軽減を図ることにより、義務教育の円滑な実施に資する。	児童生徒 保護者	年間	小中学校	17,565
(7) キャリアサポート事業	児童生徒が自らの学習活動等の学びのプロセスを記述し振り返ることのできる個人評価ツールで使用する物品の整備を行う。	児童生徒	年間	小中学校	393

4. 教育環境の整備

(単位：千円)

事業名	事業のねらい・内容等	実施時期	実施場所	予算額
(1) 学校施設修繕	<p>教育施設修繕</p> <p>【事業内容】 小中学校、教職員住宅及びスクールバスの管理上支障のある箇所について修繕を実施する。</p> <p>【主な修繕工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都万小学校保健室エアコン改修工事 ・西郷小学校エバーサルト設置工事 ・北小学校校舎照明 LED 化工事 ・北小学校体育館照明 LED 化工事 ・西郷小学校体育館照明 LED 化工事 ・都万小学校体育館照明 LED 化工事 ・西郷中学校危険構造物撤去工事 ・西郷中学校体育館照明 LED 化工事 ・西郷南中学校体育館照明 LED 化工事 	随時	小中学校	127,077
(2) 有木小学校大規模改修事業	<p>【校舎改修工事】</p> <p>屋根、庇、トイレ等の改修工事により、安全性確保と、利便性向上を図る。 (R1 繰越事業)</p>	4～7月	有木小学校	172,993
(3) 小学校児童用机・椅子購入事業	老朽化の著しい小学校児童用机・椅子を更新する。	5～7月	小学校	11,253
(4) 小中学校空調設備整備事業	夏の厳しい学習環境を改善するため、小中学校特別教室に空調機器を整備する。	5～2月	小中学校	241,776
(5) 教育情報化推進事業 (小中学校校内通信ネットワーク整備事業)	児童生徒一人一台端末の同時利用が可能となる校内ネットワーク環境を整備する。	6～3月	小中学校	106,000

5. 魅力ある学校づくり事業

(単位：千円)

事業名	事業のねらい・内容等	実施時期	対 象	予算額
(1) ふるさと教育	ふるさと教育副教材「ふるさと隠岐」の積極的活用(竹島学習を含む)	年 間	小 中 学 校	0
	ジオパーク学習等、ふるさと学習の推進(竹島学習を含む)	年 間	小 中 学 校	1,100
	中学3年生による「中学生議会」において学習の成果を町長に対し提案する。	年 間	中 学 校	0
(2) 修学旅行費補助事業	隠岐の島町内小中学校が行う修学旅行に対して、費用の一部を助成する。※R元年度より補助金額の上限を拡充	年 間	小 中 学 校	8,551
(3) 中学校各種大会等参加費助成事業	中学生・県大会等遠征費を補助することで、子育て世帯の負担軽減を図るとともに、県内の高いレベルを知ること、生活面での意欲を高める。	年 間	中 学 校	12,000
(4) 国際交流補助事業	オーストラリアのマッキロップ高校との交流をとおり、隠岐高校・隠岐の島水産高校・町内中学生の意識の国際化と魅力ある学校づくりにつなげる。	11月	隠岐高校 隠岐水産高校 町内中学生	3,000
(5) 複式教育推進事業	複式学級を有する学校に非常勤講師を配置し、教員の負担軽減と地域と連携した活動を推進する。	年 間	中条小学校 有木小学校 北小学校 都万小学校	8,897

6. 高校魅力化事業

(単位：千円)

事業名	事業のねらい・内容等	実施時期	対象高校	予算額
(1) オープンスクール参加助成	島外からのオープンスクール参加者に対し、旅費の助成を行い島外からの入学生増を図る。	7～8月	隠岐高校 隠岐水産高校	800
(2) 学力向上助成	有名予備校の教材を購入し、生徒の学力向上を図り、更には隠岐高校の魅力アップにつなげる。	年間	隠岐高校	1,000
(3) 高校寮費助成	寄宿舎に入寮している生徒及び島外からの在校生で祖父母宅等から通学している生徒に対し助成を行い、島外からの入学生増を図る。	年間	隠岐高校 隠岐水産高校	5,040
(4) 部活動遠征費助成	本土で開催される部活動への旅費の助成を行い、各高校の魅力アップにつなげる。	随時	隠岐高校 隠岐水産高校	1,000
(5) 高校研修旅行助成	関西圏の企業・大学等への研修旅行の助成を行い、高校の魅力アップを図り、島内外からの入学生の増加につなげる。	9月	隠岐高校 隠岐水産高校	3,960
(6) (新)地域みらい留学助成	地域みらい留学参加費の助成。高校1校につき30万円が必要であり、島根県、町、高校で1/3ずつ負担する。	9月	隠岐高校 隠岐水産高校	200
(7) 高校魅力化コーディネーター配置	地域を巻き込んだ高校の魅力化・活性化事業を行い、島内・島外からの入学生の増加を図る。	年間	隠岐高校 隠岐水産高校	9,165

Ⅲ-3 社会教育事業計画

1. 会 議

(単位：千円)

事業名	事業のねらい・内容等	参加対象及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
社会教育委員の会議	社会教育に関する研究調査・諸計画の立案を行い、教育委員会の諮問に応じ、意見を述べる。	社会教育委員 (10名)	定例会議 年2回 臨時会議 年2回	教育委員会	299
町立屋内温水プール運営委員会	プールの管理運営を適正且つ円滑に行うための調査審議を行う。	運営委員 (10名)	年2回	町立屋内温水プール	84
総合体育館管理運営委員会	総合体育館の管理運営を適正且つ円滑に行うための調査審議を行う。	運営委員 (10名)	年2回	総合体育館	82
スポーツ推進審議会	スポーツ推進計画や、その他スポーツ推進に関する重要事項の調査審議を行う。	審議会委員 (10名)	年3回	教育委員会	105
文化財保護審議会	文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議を行う。	審議会委員 (10名)	年3回	教育委員会	123
町立図書館運営委員会	町立図書館の管理運営及び事業の計画・実施について審議を行う。	運営委員 (10名)	年3回	町立図書館	108

2. 社会教育の振興

(単位:千円)

事業名	事業のねらい・内容等	参加対象及び人員等	実施時期	実施場所	予算額	
全国大会出場助成事業	県予選を勝ち抜いて全国大会に出場する選手・団体に対し、参加経費自己負担分の一部を助成する。	クラブ 団体 個人	年間	島外遠征	650	
がんばれ島のキッズ島外遠征助成事業	島外へ遠征するスポーツ・文化クラブ等に対して、遠征経費の一部助成を行い、保護者の経済的負担の軽減を図り、子どもたちの活発な活動を支援する。	個人・団体	年間	島外遠征	3,000	
結集!しまねの子育て協働プロジェクト (国・県補助)	地域学校協働活動支援事業	地域と学校が連携・協働する体制を整備し、住民の知識・経験を活用して地域教育力の向上を図る。	児童	年間	小中学校	1,032
	放課後支援事業	総合体育館、都万、五箇、布施公民館及び中条、磯、有木、北小学校に、放課後子ども教室を設置し、子どもたちの体験活動や地域住民との交流活動を促進する。	児童	年間	総合体育館 都万・五箇・布施公民館 中条・磯・有木・北小	3,229
	家庭教育支援事業	町内のファシリテーター(学習支援者)が親楽プログラムを実施し、保護者がつながり、親としての役割や子どもとの関わりについて学ぶ場を提供する。	保護者	年間	小中学校等	78
ふるさと教育推進事業(県交付金)	地域の教育資源(ひと・もの・こと)を活かした教育活動を公民館、学校、地域が一体となり推進する。(竹島学習を含む)	児童	年間	町内	935	
社会教育団体活動支援事業	成人教育団体の活動促進を図る。(小中学校PTA連合会) (各地区の団体は公民館で予算化)	成人団体	年間	—	100	
人権・同和教育関係団体活動推進事業	隠岐の島町人権・同和教育推進会議の活動を促進し、人権・同和教育基本構想を基に教育活動を推進する。	一般	年間	町内	195	
教育文化施設運営事業	文化会館の施設を拠点に、財団などのノウハウを活用しながら、更なる教育・文化の振興を推進する。 (新)大ホールのレギュレーターを交換する。	—	年間	隠岐島文化会館	21,133 (内訳) 指定管理料 19,999 レギュレーター交換 1,134	

3. 社会体育の振興

(単位:千円)

事業名	事業のねらい・内容等	参加対象及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
スポーツ推進委員研修会	スポーツ活動の企画・運営・実技等の研修と町民のスポーツ活動の実態把握及び方向づけを行う。	スポーツ推進委員(22名)	年3回 専門部会各1回	教育委員会 総合体育館	533
隠岐の島町スポーツフェスティバル	軽スポーツを中心としたフェスティバルを開催することにより、競技の普及振興と生涯スポーツへの関心を高める	児童～一般	年間	総合体育館	31
障がい者スポーツ振興事業	障がい者スポーツの推進を図るためスポーツ環境の整備及び健康増進指導を、事業委託し実施する。	町民	年間	総合体育館等 周辺会場	246
つなGO隠岐の島実施事業	(一社)アスリートネットワークの協力の元、「町民の健康づくり」をテーマにトップアスリートによるスポーツ教室、健康に関する啓発講演など複合的に行う。	町民	10月4日	総合体育館等 周辺会場	1,000
社会体育団体活動支援事業	スポーツ活動の普及振興を支援する。 各団体の組織強化を支援する。 町内のスポーツ人口の拡大を図る。	スポーツクラブ・団体	年間	—	—
隠岐の島町体育協会	年間各種目のスポーツ事業(15競技)を実施する。 地区体協(8地区)の活動を支援 県体協に加盟	町民	年間	町内	2,106
隠岐郡陸上競技協会支援事業	全隠岐陸上競技選手権大会運営支援	児童～一般	4/29(水) 中止	隠岐高校	349
八角部屋合宿支援費	大相撲八角部屋隠岐合宿の支援を行うことで、町内相撲競技の普及及び振興を図る。	大相撲八角部屋 隠岐合宿 実行委員会	1年延期 ※新型コロナウイルス感染拡大 防止の為	町内	3,300
社会体育施設管理運営事業	総合体育館、運動公園の維持管理運営を行う。 (運営委員会会議費 82)	—	年間	—	24,087 指定管理料 24,087

	屋内温水プールの維持管理運営を行う。 (運営委員会会議費 82) (新)老朽化したプールクリナー1台を更新する。	—	年 間	—	9,559 指定管理料 8,767 プールクリナー更新 792
	西郷武道館の維持管理運営を行う。 (継)老朽化した柔道畳(52枚)を更新する。	—	年 間	—	5,198 指定管理料 2,059 柔道畳購入 3,139
	中条・岬町民体育館、立木ヨットハーバー艇庫の維持管理・運営を行う。	—	年 間	—	2,227
学 校 施 設 開 放 事 業	スポーツ活動の拡大と日常化に対応し、活動の場の確保を図る。	ス ポ ー ツ ク ラ ブ・団 体	年 間	小中学校	—
学 校 施 設 利 用 団 体 連 絡 会	学校施設の有効利用とマナーについて、理解を深める。	ス ポ ー ツ ク ラ ブ・団 体	3月 9月	教育委員会	—

4. 文化財の保護と活用

(単位：千円)

事業名	事業のねらい・内容等	実施時期	実施場所	予算額
牛突き習俗保存対策事業	<p>隠岐の牛突き習俗保存のため、導入・処分費及び大会出場牛の補助を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 導入費の2/3 (上限なし) @678千円×2/3×12頭=5,424千円 処分費 @70千円×10頭= 700千円 大会出場牛 @10千円×50頭= 500千円 	年間	—	6,624
<p>【新規】 埋蔵文化財調査事業</p>	<p>埋蔵文化財包蔵地の試掘又は発掘調査及び調査で出土した遺物の整理保存を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 会計年度任用職員雇用費 3,254千円 <p>島根県事業「ソマ谷川県単砂防事業」に伴う工事予定範囲内に「久見魚切遺跡」等が含まれることから、事前発掘調査を実施し報告書作成及び県へ意見書を提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> (新)埋蔵文化財発掘調査費 393千円 	年間	教育委員会 久見地区 他	3,647
無形民俗文化財補助金交付事業	<p>町内の指定無形民俗文化財の保持者に対し、文化財の適正な保存と活用の促進を図ることを目的に補助を行う。</p> <p>※対象団体：18団体 ※補助対象経費の1/2以内</p>	年間	町内	3,500
佐々木家住宅管理運営事業	<p>重文佐々木家住宅の施設整備及び管理運営を行う。</p> <p>(管理運営費)</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理清掃費(305日) 1,833千円 光熱水費・事務費等 280千円 設備維持費(浄化槽、防火設備) 269千円 活用イベント(神楽公演10月) 50千円 	年間	佐々木家 住宅	2,432
指定文化財看板設置事業	<p>町内指定文化財の説明看板を計画的に新設、又は更新する。英語併記する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定文化財説明看板設置業務委託 @297,000×5箇所=1,485千円 	年間	町内	1,485
隠岐の文化財発刊(第38号)	<p>隠岐島内の文化財に関する調査研究をまとめた研究誌「隠岐の文化財」を発刊し、郷土の文化財に対する住民の意識啓発を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※島前の各教委と共同出版(750部) 印刷製本費 792千円 送料 40千円 編集委員会費 38千円 	令和3年 3月発刊	教育委員会 他	870

国府尾城活用整備事業	国府尾城跡と周辺関連遺跡について総合的に調査し、活用方法の具体策を検討した上で適切に保存整備する。 ・検討委員会開催費（9名/3回） 167千円 ・調査費 106千円 ・講演会開催費 144千円	年間	教育委員会 国府尾城跡 他	417
神馬導入促進事業	文化財公開に用いる馬の導入費補助を行う。 ・導入費の2/3（上限なし） @450千円×2/3×1頭=300千円	年間	—	300
史跡隠岐国分寺境内保存活用整備事業	史跡隠岐国分寺境内の保存活用整備方法の具体策を検討し、適切に保存整備することを目的に保存活用整備計画を策定する。 ・策定委員会開催費（8名/3回） 285千円	年間	教育委員会 国分寺境内 他	285
古文書整理保存事業	町内に残る古文書等の史料について総合的に調査し、目録を整備した上で適切に整理・保管する。 ・古文書整理保存事業検討委員会の開催（6名/1回） 52千円 ・防虫処理機器リース料、消耗品費等 174千円	年間	教育委員会 郷土館 図書館 他	226
国指定重要文化財防災設備保守（国補）	国指定重文建造物の防災設備保守点検費の補助を行う。 （水若酢神社43、玉若酢命神社48、億岐家住宅39） ※総事業費 497千円 （国補助152/町補助130/所有者215）	年間	水若酢神社 玉若酢命神社 億岐家住宅	130
名勝隠岐布施海岸見回り看視事業（国補）	国の名勝に指定（昭和10年5月30日）されている隠岐布施海岸の看視業務（海上・陸上看視）を布施地区に委託し実施する。 ※年間見廻り看視日数 104日 ・見廻り看視委託費 125千円 （国庫補助99千円/町負担26千円）	年間	布施	125
天然記念物樹勢モニタリング	樹木医を招き、町内の天然記念物の樹勢等のモニタリングを行い、保存対策の指導を仰ぐ。 ◎樹木医謝金・旅費（2名） 116千円 〔対象天然記念物〕 八百杉、かぶら杉、春日神社クロマツ群、唐傘の松、大山神社の杉とケヤキ 他	10月頃	町内	116

5. 図書館の管理と活用

(単位：千円)

事業名	事業のねらい・内容等	参加対象及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
隠岐の島町図書館管理運営事業	町立図書館の適正な管理運営を図る。管理運営業務を指定管理者制度により、(公財)隠岐の島町教育文化振興財団に委託し実施する。	—	年間	図書館	32,748
隠岐の島町図書館資料整備事業	図書、雑誌、新聞などの収集を積極的に行う。郷土の歴史・文化・産業などの資料・情報の収集も行い公開する。 (図書 5,000千円/雑誌新聞 1,000千円)	—	年間	図書館	6,000
【新規】 隠岐の島町図書館施設整備事業	図書システムの更新が必要であったため、R1年10月に公開型ポータル方式により新図書システムの導入事業者を決定し、R2年2月から新システムの運用を開始した。5箇年契約。 ※5箇年事業費合計：17,902千円 ※R2年度事業費（年額） ・ 図書システムリース料 @198,275×12月=2,380千円 ・ 図書システム保守料 @99,000×12月=1,205千円	—	年間	図書館	3,585
隠岐の島町図書館視聴覚資料整備事業	館内の映像資料を映像再生機器の進歩に合わせ、計画的に新たな媒体へ更新する。 (CD・DVD 1,500千円)	—	年間	図書館	1,500

6. 文化芸術活動の普及推進

(単位：千円)

事業名	事業のねらい・内容等	参加対象及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
歴史文化事業促進補助	町内に伝わる歴史や文化を継承、普及する事業を実施する団体に活動費の補助を行う。	一般団体	年間	町内	300
地域と中学校の文化活動支援事業	文化部を有する中学校が地域で文化活動を実施する際の活動費の補助を行う。	中学校	年間	町内	70

Ⅲ-4 公民館事業計画

1. 生涯学習の推進

(単位：千円)

事業名	事業のねらい、内容等	参加対象者及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
公民館運営審議会	公民館の運営・事業の企画実施について調査審議する。	委員 10 名	6 月 11 月 随時	文化会館	82
学習情報の収集及び提供	1.「公民館ニュース」により公民館活動や分館活動についてのPR及び島内の各種情報を収集し住民に提供する。 2. 隠岐の島町ウェブサイトや町の「お知らせ便」を活用し、各種講座の開設予定や募集などの情報を提供する。	全戸配布	毎月月末	—	—
分館長会議及び研修	分館相互の連携を深め、地域の実情に即した活動方法などについて協議する。活動助成や支援について説明会を開催する。	中央 42 分館 布施 12 分館 五箇 12 分館 都万 18 分館	年 間 年 1～3 回	各地区 分 館	—
分館活動支援事業	分館において、自主的に取り組む学習活動を支援する。また、その運営のために、活動費を助成する。	各 分 館 の 住 民	年 間	各 分 館	中央 3, 125 布施 893 五箇 842 都万 1, 126 計 5, 986
職員研修	公民館活動を推進するため各種の研修会に参加し、また職員相互の研修を行い、職員の資質向上に努める。	公民館職員	—	教育委員会 文化会館	—
地域力育成事業	地域住民とともに、地域課題の解決に向けて取り組みを行う。	町 民	年 間	各地区 分 館	—
公民館講座	地域住民の学習要求や新たな課題に応じた生涯学習の情報を提供する。また、地域での生涯学習の機会を提供し、地域住民の交流を促進します。	町 民	年 間	各公民館 体育施設	中央 224 布施 100 五箇 130 都万 85 計 539
分館ジオパーク学習	隠岐ジオパーク推進協議会との連携により、すべての分館においてH27より3ヶ年で学習を実施する計画でしたが、未実施の分館もあり、引き続きH30から3ヶ年で学習の場を設ける。	分 館	年 間	各分館 集会所	—
高齢者教室	高齢者の学習及び社会参加の機会を提供するとともに、リーダー育成を図る。	各地域の高齢者 4 団体	年 間	各公民館	中央 36 都万 110 計 146

公民館 なんでも マナビイ 講座	公民館がコーディネーターとして、地域、分館、学校などが、登録をした学びたい内容について、講座と講師の紹介や日程調整などを図るなどの要望に応える。	関係団体 地域住民	年間	各公民館 分館	—
体育 団体支援	地域住民の体力づくりやコミュニティの醸成を目的として、各地区の体育協会を支援する。	町民	年間	各公民館 体育施設	—

2. 地域の教育力の向上

事業名	事業のねらい、内容等	参加対象者 及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
ふるまい 向上	あいさつの重要性を認識し、進んであいさつをする子や親の育成を図る。	事業実施時 参加児童等	随時	—	—
児童生徒 地域見守 り事業	地域住民の協力を得て、通学時及び地域内で遊んでいる児童生徒を見守る。	地域住民 (ボランティア)	随時	各地区	—
冬期体力 づくり 教室	寒稽古として各種スポーツ教室を開設し、住民の健康と体力づくりを推進する。	町民	1月	五箇地区	330

3. 家庭教育・青少年教育の充実

事業名	事業のねらい、内容等	参加対象者 及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
家庭教育 支援事業	家庭教育の重要性についての認識を深めてもらうことを目的とし、家庭教育講座や、親子での活動を推進する。	親子 保護者	随時	文化会館	—
青少年の 育成と活 動の推進 事業	地域で子どもを育む視点から、活動の中心的役割を担う青少年の育成を図るための活動を推進する。 子ども会の活動支援を行う。	地域の子ども たち 子ども会	年間	総合体育館 各公民館	中央 44 布施 148 都万 230 計 422
地域青少年 伝統 活動支援 事業	「立志式」 14歳の若者に将来の目標や進路について決意を明らかにし、大人になるにあたっての自覚を深めてもらう。	中学2年生 対象	2月	布施公民館	0

4. 文化芸術活動の推進

事業名	事業のねらい、内容等	参加対象者及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
文化祭	分館及び文化グループ活動の発表機会として実施し、広く町民の文化活動への参加促進と意識啓発を図る。文化祭を発表の場として活用できるよう、分館活動を支援する。	町民	10月～ 12月	中央公民館 布施公民館 五箇公民館 都万公民館	中央 75 布施 20 五箇 90 都万 19 計 204
読書普及活動	隠岐の島町図書館と連携して読書普及活動を実施し、公民館図書の利用促進を図る。	町民	随時	各公民館	布施 50 五箇 59 都万 57 計 166

5. 人権・同和教育の推進

事業名	事業のねらい、内容等	参加対象者及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
人権・同和教育の推進活動	日常生活の中での「差別や偏見」、「人権」について、意識啓発を図るための研修会や地区学習活動を通して、人権・同和教育を推進する。	町民	随時	町内	—

6. コミュニティ活動の推進

事業名	事業のねらい、内容等	参加対象者及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
コミュニティ活動の推進事業	まちづくり運動協議会及び関係団体との連携により、「ひとづくり活動」、「環境美化活動」を中心とした事業への取り組みを通して、住民参加による活力のある「ふるさとづくり」に向けた活動を推進する。	町民	随時	—	中央 815 布施 48 計 863

7. その他関連事業（各施設の管理運営）

- (1) 社会教育施設の管理と活用

Ⅲ-5 図書館事業計画

1. まちの情報拠点としての図書館づくり

事業名	事業のねらい、内容等	具体的事項及び備考	
(1) 図書館資料の提供	資料の 1)収集 2)提供 3)整備	①ニーズに応えるよう、多種多様な資料を収集する ②他館との相互貸借等により、できる限り利用者のリクエストに応える。(提供) ③不明資料の検索や資料の点検整備のために蔵書点検を行う。(整備) ④郷土資料収集のための広報活動や資料提供の依頼を行う。(収集) ⑤町民の暮らしや娯楽に役立つもの及び時事関連の新鮮な情報提供が出来る雑誌等の収集整備に努める。	①資料購入費の増額 ②全国の図書館を対象に相互に貸借を実施 ③2月中1週間程度実施 ④郷土資料の公開時に情報提供を依頼 ⑤法人や個人などの協力(寄贈等)により実施
	町の情報センター的機能の充実	①「まちの情報ひろば」コーナーを充実し利用者に分かり易い情報提供の場づくりを行う。 ②館内のテーマ別のコーナーの充実を図る。	【重点事業】 ①コーナー設定の工夫 ②ジオパーク・特集コーナー・絵本コーナー等
	国会図書館資料送信サービスの活用	国立国会図書館が作成したデジタルデータを当館内パソコンで閲覧可能にする。	【新規事業】 広報活動による周知
	郷土資料の保存・公開	①郷土資料のデジタルアーカイブ(デジタル媒体への記録・保存)を進め、目録作成と活用促進を行う。 ②保存資料の公開を行う。	【重点事業】 ①3年間の事業評価と改善計画をたて継続実施 ②公開の仕方を工夫
(2) 視聴覚資料の充実	DVDへの更新	図書館利用の幅を広げるために、引き続きDVDの新規購入、買い替えを行う。	視聴覚ブースの充実による活用の促進
	朗読CDの整備	目で読みづらい方のために、朗読CDを整備し読書の機会を保障する。	引き続き周知のための広報活動を実施
(3) リクエスト制度の活用	リクエスト制度の推進	リクエスト制度について、利用者に周知することで、利用者に図書館の活用の幅を広げてもらうよう努める。	①広報での啓発 ②リクエスト申込用紙をHPに掲載
(4) 図書館情報の発信	広報誌での情報提供	①新着図書の紹介や、イベントなどの紹介をするために「読まんかね」を発行する。 ②町の広報誌への情報を掲載する。	①毎月発行(町内回覧) ②「広報隠岐の島」「お知らせ便」
	図書館HP	いつでも、どこからでも図書館情報を検索できるようHPでの情報発信を引き続き行う。	基本情報及びイベントや講座等の情報掲載
	図書館年報	図書館年報を発行し、業務の分析を行い、次年度以降の運営に活かすよう努める。	毎年5月に発行

2. すべての町民の学びを支える図書館づくり

事業名		事業のねらい、内容等	具体的事項及び備考
(1) 乳幼児期からの図書館利用の啓発	親と子の読書普及事業	親子読書や子どもの読書を推進するために、保護者又は親子を対象に啓発活動を行う。	親子読書啓発チラシの作成と配布
	ファミリータイムの設定	幼児連れでも来館しやすいよう、館内に赤ちゃんの泣き声等に理解を求める掲示をする。	毎週日曜(10:00~12:00)お話の部屋でおもちゃの開放を実施
	しまね子育てえほんの貸出	県から寄託の「しまね子育てえほん」(約 1,000冊)を管理し、町内各保育所等に貸出しをする。	3か月に2箱ずつ町内保育所・支援センターへ貸出
	子ども読書推進活動	①乳幼児対象の読み聞かせの会を実施する。(はじめての絵本・おはなしの部屋) ②季節の行事に合った、ブラック紙芝居・工作・ストーリーテリング・ブックトーク・読み聞かせ等を行う。 ③「子ども読書の推進に関する法律」の施行に鑑み、子ども読書の日に因んだイベントを計画し実施する。	①はじめて⇒日曜日 AM おはなし⇒土曜日 PM ②ボランティアグループの協力のもと年3回実施 ③4月23日に「子ども読書スペシャル」を実施
	ブックスタート事業	町内で生まれた赤ちゃんと、その保護者に絵本を手渡し、絵本を開く楽しい体験を知ってもらい、本との出会いのきっかけ作りをする。(ボランティア・役場福祉課・保健課・町教委と協力)	4ヶ月の乳児：読み聞かせと絵本2冊をプレゼント 3歳児：図書館で絵本1冊をプレゼント
(2) 児童生徒の読書活動の支援	学校との連携	児童生徒の図書館利用を促進させるために、学校訪問を実施し、担当教諭や学校司書との話し合いを通して課題点を見出し連携に活かす。	図書館司書と司書教諭を対象に、夏休み中に協議を実施 (※希望する学校のみ)
	プレジャー発行	中学生・高校生の協力を得て、中学生・高校生のための読書案内を作成し、青少年のよりよい読書環境の形成の一助となるよう努める。	年3回(5月・9月・1月) 町内全中高生へ配布
(3) 働き盛り世代の図書館利用の促進	就労関係情報の充実	雇用促進のために図書館として何ができるかの視点から、創意工夫と検討を行う。	分かり易いビジネス情報コーナーの設置
	来館者・利用者登録者の拡大	①各種イベントや展示の工夫・充実により、図書館の利用者層を広げるよう努める。 ②利用者のニーズ・要望把握するために検討を行う。	①よるとしよ・図書館まつり・展示他 ②アンケート調査結果の再確認と検討
(4) 高齢者や障がい者の読書環境保障	来館困難な方へのサービス	サービスの方法を関係機関と検討を行う。	調査の実施 本のリサイクル市の拡大
	公民館との連携	公民館の分館的機能の向上と充実を図る。	公民館図書室へ図書の配本(年2~4回) 公民館と協議の実施

3. 人と人との交流とまちづくりを支える図書館づくり

事業名		事業のねらい、内容等	具体的事項及び備考
(1) 地域課題への対応	地域課題対応	資料や情報を有効活用し、地域や町民の課題解決を支援する。「就業、子育て、教育、健康・医療、法律等」に関する情報や地域資料等、地域の実情に応じた情報提供サービスや講座等を行う。	年2回の予定 内容は今後検討 (※2019年度の例 ⇒ガン情報コーナー)
(2) 施設の有効利用	研修室の多目的利用	①イベントや講座を開催する。 ②学習スペースとして開放を行う。 (※蓋つきの飲み物持ち込み可とする)	①本のリサイクル市等 ②中高生への働きかけ
	交流カフェ	イベントに合わせて実施する。 地域のコミュニティーの場づくりとする。	年3回(よるとしよの際に実施)
(3) 施設を活用した催しの開催	図書館開放事業	外部機関と連携した講座やイベントの誘致と開催を行う。	年2回の開催を検討
	住民主体事業	①おはなしのへや 読み聞かせを基本に幼児児童を対象に行う。 ②隠岐アゴラ お薦めの本を紹介し合い、本を通して意見を述べ合う中で、読書への興味の幅を広げる。	①主催：ボランティアグループ おはなしのへや (毎週土曜日) ②主催：隠岐アゴラの会 (毎月第2土曜日)
	図書館展示	展示コーナーを活用して、郷土資料の展示、団体や個人の作品等の展示を行う。	公募し、可能な限り様々な展示を実施
	図書館まつり	図書館まつりを開催し、リサイクル市など各種イベントの企画で、多くの方が図書館に親しむきっかけづくりに努める。	11月第1土曜日・日曜日



4. 安心・快適な図書館づくり

事業名		事業のねらい、内容等	具体的事項及び備考
(1) 柔軟な 開館時 間	よる としよ	普段来館の機会が少ない方に足を運んでもらうために様々なイベントを企画し夜間開館を行う。	年3回実施 (18:00~21:00)
	その他	利用者の要望に応え開館する。	1月4日午後を臨時開館
(2) 職員の 資質や 専門性 の向上	研修会 へ参加	図書館職員の資質や専門性の向上を図るため、各研修会参加や他館との交流研修を行う。	館長会・専門研修・交流研修(県内の図書館)
	職員 研修	日々の業務を通して、図書館司書の専門性や図書館職員としての資質の向上を図る。	自己目標の設定と振り返り(館長面談で実施)
(3) ボラン ティア との連 携	各種イ ベント 及び 行事	利用者への多様なサービスを展開するために「ボランティアの協力を得た取組みの充実」を図り、「ボランティアとの定期的な情報交換」を実施する。	「しまね子ども読書等推進の会」隠岐支部事務局として活動実施
(4) バリア フリー 化	館内 設備の 整備	①分かりやすい開架案内と表示を実施する。 ②読書サポートグッズの整備を行う。 ③スツール(椅子)の整備を行う。 ④大活字本の充実を図る。	①館内サイン ②各種拡大鏡等 ③5脚 ④周知の工夫
	多言語 対応	外国の方も利用しやすいように、外国語による利用案内に努める。	現行パンフレットを翻訳し作成



IV. 指定文化財、各種委員名簿

A policy and an enterprise of education



国指定考古資料 隠岐国駅鈴

IV-1 隠岐の島町の指定文化財

国指定 14 県指定 24 町指定 35 計 73

No	指定別	種別	指定年月日	名称	所在地	備考
1	国	天	1928. 2. 7	高尾暖地性潤葉樹林	中村	中村字高尾の標高350m～420mの森林。現在の指定面積は約12ha。暖地性常緑広葉樹林
2	国	天	1929. 12. 17	玉若酢命神社の八百スギ	下西	推定樹齢千数百年の杉一株 樹高は28m。杉の巨木としては県下一
3	国	史	1934. 3. 13	隠岐国分寺境内	池田	後醍醐天皇行在所跡。奈良時代の柱穴や根巻瓦、塀の痕跡を発掘。(2018.10.15指定範囲追加)
4	国	考	1935. 4. 30	隠岐国駅鈴 附光格天皇御下賜唐櫃1合	下西	国内で唯一現存
5	国	考	1935. 4. 30	銅印 印文「隠伎倉印」	下西	現存するのは隠岐・駿河・但馬
6	国	名天	1938. 5. 30	隠岐白島海岸	西村	島後最北端の海岸 流紋岩の白色が美しい
7	国	天名	1938. 5. 30	隠岐海苔田ノ鼻	元屋	元屋地区の北東に突き出した岬 鎧岩などアルカリ粗面岩の節理が特徴
8	国	名	1938. 5. 30	隠岐布施海岸	布施	布施地区の海岸一帯 浄土ヶ浦など凝灰岩による美しい景観
9	国	天	1940. 2. 10	沖島オオミズナギドリ繁殖地	西村	白島海岸にある沖ノ島。繁殖地は国内で6箇所 4月頃飛来7月頃産卵
10	国	有民	1974. 11. 19	隠岐島後の生産用具	郡	漁労用具など674点
11	国	無民	1977. 5. 17	隠岐国分寺蓮華会舞	池田	平安時代より伝承される舞楽。7つの舞が残る 毎年4月21日公開
12	国	建	1992. 1. 21	玉若酢命神社	下西	本殿(1793建立)、随神門(1852建立)、社家徳岐家 住宅(1801建立)が指定
13	国	建	1992. 1. 21	水若酢神社本殿	郡	1795年の建立 隠岐造の神社様式
14	国	建	1992. 8. 10	佐々木家住宅	釜	1836年の建立 隠岐造民家の特徴を残す。石置杉皮葺き
15	県	無民	1962. 6. 12	島後原田神楽	原田	周吉神楽の一つ 原田地区の社家、村上家により行われた
16	県	無民	1962. 6. 12	島後久見神楽	久見	穂地神楽の一つ。伊勢命神社で西暦偶数年は7月 15日、同奇数年は7月16日に公開
17	県	有民	1965. 5. 21	旧佐々木家住宅生活用具	釜	幕末から明治時代の農耕・調理などに関わる民具 91点
18	県	無民	1965. 5. 21	玉若酢命神社御霊会風流	下西	馬入れは旧西郷町内から8頭の神馬が参集 毎年6月5日公開
19	県	天	1965. 5. 21	岩倉の乳房杉	布施	推定樹齢800年。樹高は40m 大小20～30の乳房状の下垂根が特徴
20	県	天	1967. 5. 30	世間桜	元屋	雄桜(樹高16m)、雌桜(13m)の2株。推定樹齢はと もに700年。開花状況で豊凶を占ったとされる
21	県	天	1967. 5. 30	春日神社のクロマツ群	布施	布施地区春日神社境内のクロマツ群 過去には樹高日本一(65m)の巨木も存在した

No	指 定 別	種 別	指 定 年 月 日	名 称	所 在 地	備 考
22	県	天名	1967. 5. 30	驚ヶ峰およびトカゲ岩	布 施	珍しい岩質のトカゲ岩 大規模な柱状節理が造り出した屏風岩
23	県	天	1968. 6. 7	中村のかぶら杉	中 村	推定樹齢約600年。樹高は38.5m 幹が途中から6本に分かれる特殊な杉
24	県	無民	1968. 6. 7	隠岐武良祭風流	中村・元屋	神相撲、占手などの神事が行われる 隔年(西暦奇数年)10月19日公開
25	県	史	1969. 5. 23	平神社古墳	平	隠岐で最大の前方後円墳 全長47m前後。横穴式石室が露出
26	県	書	1969. 5. 23	紙本墨書高田明神百首和歌	都 万	1387年の作 二条良基ら43名の和歌を収録
27	県	建	1970. 10. 27	旧周吉外三郡役所庁舎	郡	現隠岐郷土館 明治初期の洋風木造建築
28	県	工	1970. 10. 27	鉄腹巻 兜、頬当、筒袖、肩当、籠手、膝鎧付	西 村	戦国期の作 かつては武良祭の行司役が着用したとされる
29	県	天	1970. 10. 27	元屋のオキシクナゲ自生地	元 屋	隠岐の固有種オキシクナゲの自生地 約80haの範囲にナゴランなどの貴重植物も自生
30	県	史	1972. 3. 31	隠岐国分尼寺跡	有 木	大型建物跡遺構が並ぶ 舟形単弁蓮華紋の軒瓦が出土
31	県	史	1972. 7. 28	玉若酢命神社古墳群	下 西	前方後円墳1基(全長32m) 円墳14基
32	県	無民	1973. 3. 30	水若酢神社祭礼風流	郡	山曳きは水害により流された社殿の材を曳いたことが起源とされる。隔年(西暦偶数年)5月3日公開
33	県	有民	1973. 3. 30	隠岐島後の衣食住および生産用具	郡	家具、調度品などなど691点
34	県	有民	1974. 12. 27	都万目の民家	郡	幕末頃の建立 隠岐造民家の特徴を残す。茅葺入母屋造
35	県	有民	1974. 12. 27	原田神楽の面	今 津	中世末の柵も含め20面 東郷村上社家より伝来
36	県	史	2000. 3. 28	大城遺跡	西 町	隠岐で初の弥生時代の墳墓 四隅突出型墳丘墓
37	県	無民	2005. 4. 15	隠岐の牛突き習俗	隠岐の島町	「旧名称:壇鏡神社八朔祭の牛突き習俗」から範囲を隠岐の島町全体の牛突き習俗に内容変更し追加指定(2018. 2.16)
38	県	無民	2012. 11. 20	布施の山祭り	布 施	隔年(西暦偶数年)4月の初午の日に公開 帯裁ち、榊まくり、帯締め
39	町	古	1967. 5. 1	佐々木家庄屋文書	釜	隠州視聴合記、検地帳など257点 幕末から明治期にかけての資料
40	町	史	1967. 5. 1	宮尾遺跡	東 郷	縄文時代中期の初め 縄文土器、黒曜石製品が多数出土
41	町	史	1967. 5. 1	湊遺跡	湊	縄文後期～弥生前期の遺物散布地
42	町	史	1967. 5. 1	甲ノ原2号墳	下 西	前方後円墳 全長30m前後。周辺にも数基の前方後円墳
43	町	無民	1971. 10. 20	西村神楽	西 村	周吉神楽の一つ。 毎年8月14日西村神社で公開
44	町	無民	1973. 4. 24	代神楽	代	穂地神楽の一つ。 隔年10月17日北谷神社で公開

No	指 定 別	種 別	指 定 年 月 日	名 称	所 在 地	備 考
45	町	無民	1975. 1. 20	御 碕 神 社 祭 礼 宇 屋 だ ん じ り 舞 風 流	東 町	「だんじり舞」という名称が特徴 3年毎の7月28日に公開(平成26年公開)
46	町	無民	1975. 1. 20	山 田 客 祭 風 流	山 田	的射の神事による豊作祈願 毎年2月初午の日に公開
47	町	無民	1975. 1. 20	長 尾 田 百 手 祭 風 流	長 尾 田	毎年4月3日に公開
48	町	天	1975. 10. 17	隠 岐 産 著 名 植 物 群 落	今 津	今津港沿岸の隠岐固有種を含む植物群落 オキノアブラギクやオキタンボなどが自生
49	町	天	1975. 10. 17	元 屋 の ム ク ロ ジ 群	元 屋	熱帯・亜熱帯に分布するムクロジの自生地 11本の巨木が自生
50	町	天	1975. 10. 17	犬 来 の シ イ	犬 来	スタジイの巨木2株。樹高は13mと15m 犬来地区から津井の池に向かう林道脇
51	町	天	1975. 10. 17	銚子おんぎやくさんのケヤキ	原 田	ケヤキの巨木1株。樹高は23m 過去には2本の杉の巨木と共に指定
52	町	天	1975. 10. 17	物 忌 神 社 の 大 ス ギ	原 田	物忌神社の境内、樹高25mの巨木 幹にはケヤキが寄生する
53	町	天	1975. 10. 17	大 満 寺 の マ ド ス ギ	有 木	大満寺山頂への登山道の脇 アーチ状の幹が名称の由来
54	町	天	1975. 10. 17	油 井 の ス イ セ ン 等 の 植 物 群 落	油 井	油井地区の海岸道路脇。スイセンが群生する地帯 に隠岐固有種が生育する群落
55	町	天	1977. 4. 11	御 碕 神 社 の 森	東 町	東町地区御碕神社境内。タブノキ、シイなどの大木 を中心に隠岐の自然林を今に残す
56	町	天	1977. 4. 11	東 郷 の 大 モ ミ	東 郷	東郷地区北の林道三叉路。樹高28m 数少ないモミの大木
57	町	天	1977. 4. 11	嶽 山 の イ ス ノ キ	北 方	横山寺の脇道を上った山中。推定樹齢400～ 500年。樹高9m。町内で巨木は珍しい。
58	町	天	1977. 4. 11	大 山 神 社 の 杉 と ケ ヤ キ	布 施	杉は大山神社の御神木(推定樹齢800年、樹高 45m)山祭りでは帯締め神事を行う
59	町	彫	1986. 12. 20	木 造 随 身 半 跏 像	元 屋	年代不詳 ヒノキの寄せ木造り
60	町	建	1995. 4. 21	伊 勢 命 神 社	久 見	本殿と拝殿が指定 1841年の建立。隠岐造の神社様式
61	町	無民	1998. 1. 23	い ぐ り 凧 揚 げ 習 俗	隠岐の島町	名称は凧の形が由来 「隠岐いぐり凧まつり」は毎年4月2週目に公開
62	町	無民	1998. 1. 23	旧 周 吉 郡 東 郷 神 楽	東 郷	周吉神楽の一つ。東郷地区の社家、村上家によっ て行われた。随時公開
63	町	無民	1998. 1. 23	花 生 神 社 祭 礼 風 流	津 戸	役主が行う百手神事が特徴 毎年3月28日に公開
64	町	史	1998. 1. 23	光 山 寺 跡	那 久	伝小野篁配流の地 寺跡の礎石群が残る
65	町	史天	1998. 1. 23	唐 傘 の 松	中 村	武良祭の祭り場。樹高16m 枝ぶりが緩やかな傘状
66	町	天	1998. 1. 23	中 村 海 岸 の ク ロ マ ツ 群	中 村	中村海岸の370m×50mの範囲に広がるクロマツの 大木群。防風林の名残り
67	町	天	1998. 1. 23	那 久 の ア カ ガ シ 群 落	那 久	壇鏡神社から横尾山への標高400mの斜面 常緑広葉樹林を中心に隠岐の自然林が残る

No	指定別	種別	指定年月日	名称	所在地	備考
68	町	建	2006.12.21	白鳥神社本殿	今津	享和年間(1801~1804)の建立 隠岐造の一間社
69	町	建	2006.12.21	高田神社本殿及び拝殿 附若宮社	都万	1806年の建立 本殿は隠岐造一間社。拝殿は珍しい割り拝殿
70	町	無民	2010.4.19	御客神社祭礼風流	原田	的射の式。饗膳(きょうぜん)の式 西暦偶数年の3月21日に公開
71	町	天	2010.4.19	山田のツバキ	山田	山田地区の民家脇にあるヤブツバキの大木 推定樹齢400年。樹高は9m
72	町	天	2010.4.19	オキサシヨウウオ	隠岐の島町	町内の清流域に生息。世界の希少種 止水系から流水系への進化の過程が見られる
73	町	無民	2018.4.23	今津のとんど	今津	小正月に行われる豊年を願う習俗で火祭りの一種 毎年1月15日に公開

天:天然記念物
史:史跡
考:考古資料
名:名勝

有民:有形民俗文化財
無民:無形民俗文化財
建:建造物
書:書跡

工:工芸品
古:古文書
彫:彫刻

IV-2 教育委員会の各委員

隠岐の島町教育委員

(令和2年4月1日現在)

役 職	氏 名	委 員 任 期
教 育 長	野 津 浩 一	自 令和 2 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 31 日
教育委員 (職務代理者)	野 津 幸 恵	自 平成 31 年 1 月 1 日 至 令和 4 年 12 月 31 日
教育委員	常 角 敏	自 令和 2 年 1 月 1 日 至 令和 5 年 12 月 31 日
教育委員	山 下 豊 範	自 平成 29 年 1 月 1 日 至 令和 2 年 12 月 31 日
教育委員	谷 田 一 子	自 令和 2 年 4 月 1 日 至 令和 3 年 12 月 31 日

隠岐の島町教育委員会事務評価委員

(任期：H31年4月1日～R3年3月31日)

No.	氏 名	備 考
1	野 津 真 一	※R2.4.1～R3.3.31
2	角 脇 一 夫	
3	中 川 恵 子	
4	小 川 静 香	
5	金 田 洋 二 郎	

※教育に関し学識経験を有する者

隠岐の島町社会教育委員

(任期：R2.4.1～R4.3.31)

No.	氏名	備考
1	森口光春	1号委員（社会教育関係者）
2	柳原忠正	1号委員（社会教育関係者）
3	横田康	1号委員（社会教育関係者）
4	元上治	1号委員（学校教育関係者）※任期 R2.4.23～R4.3.31
5	有木健二	1号委員（学校教育関係者）※任期 R2.4.23～R4.3.31
6	齋藤智美	2号委員（家庭教育の向上に資する活動を行う者）
7	橋本賢一	3号委員（学識経験を有する者）
8	岡田智子	3号委員（学識経験を有する者）
9	谷田晃	3号委員（学識経験を有する者）
10	野津智子	3号委員（学識経験を有する者）

隠岐の島町文化財保護審議会委員

(任期：R2.4.1～R4.3.31)

No.	氏名	備考
1	忌部正孝	学識経験を有する者
2	小室賢治	学識経験を有する者
3	吉田均	学識経験を有する者
4	毛利彰	学識経験を有する者
5	八幡浩二	学識経験を有する者
6	八幡賢一	学識経験を有する者
7	鯉田サツキ	学識経験を有する者
8	齋藤則子	学識経験を有する者
9	中西直也	学識経験を有する者
10	松山怜	学識経験を有する者

隠岐の島町スポーツ推進審議会委員

(任期：R2.4.1～R4.3.31)

No.	氏名	備考
1	田平幸雄	1号委員（学識経験を有する者）
2	伊勢弘	1号委員（学識経験を有する者）
3	山口克秀	1号委員（学識経験を有する者）
4	小田富久子	1号委員（学識経験を有する者）
5	伊藤弘	1号委員（学識経験を有する者）
6	齋藤尚文	1号委員（学識経験を有する者）
7	加藤一朗	1号委員（学識経験を有する者）
8	富田績	1号委員（学識経験を有する者）
9	吉山修	1号委員（学識経験を有する者）
10	吉山明利	2号委員（関係行政機関の職員）

隠岐の島町屋内温水プール管理運営委員会委員

(任期：R2.4.1～R4.3.31)

No.	氏名	備考
1	中谷清一郎	
2	元上治	
3	齋藤正子	
4	加藤一朗	
5	高梨俊夫	
6	山本弘	
7	藤田志生	
8	野津保	
9	服部雄一	
10	川畑富美子	

隠岐の島町図書館運営委員会委員

(任期：R2. 4. 1～R4. 3. 31)

No.	氏名	備考
1	澤 敏 治	1号委員 (社会教育関係者)
2	長谷川 築 子	1号委員 (社会教育関係者)
3	村 上 利恵子	1号委員 (社会教育関係者)
4	井 沢 健	1号委員 (社会教育関係者)
5	野 村 奈緒美	1号委員 (社会教育関係者)
6	若 本 恵 子	1号委員 (学校教育関係者) ※任期 R2.4.23～R4.3.31
7	高 宮 秀 司	1号委員 (学校教育関係者) ※任期 R2.4.23～R4.3.31
8	古 賀 智 之	2号委員 (家庭教育の向上に資する活動を行う者)
9	毛 利 彰	3号委員 (学識経験を有する者)
10	常 角 辰 夫	3号委員 (学識経験を有する者)

隠岐の島町総合体育館管理運営委員会委員

(任期：R2. 4. 1～R4. 3. 31)

No.	氏名	備考
1	八 幡 邦 彦	
2	林 明 範	
3	米 山 貴 司	
4	三 角 一 伸	
5	柘 植 文 子	
6	大 西 洋 二	
7	齋 藤 正 勝	
8	井 崎 里恵子	
9	櫻 井 正 人	
10	亀 井 操	

隠岐の島町スポーツ推進委員

(任期：R2.4.1～R4.3.31)

No.	氏名	備考
1	齋藤正子	
2	柳原忠正	
3	和田貴弘	
4	高橋阿規子	
5	長崎好成	
6	佐藤 亘	
7	高平重也	
8	池田邦彦	
9	木村武司	
10	中田美雄	
11	三角一伸	
12	三橋宏平	
13	早川英明	
14	中西賢一	
15	河邊 了	
16	名越俊晴	
17	忌部正英	
18	須藤昭英	
19	柘植文子	
20	和田哉美	
21	八幡義範	
22	山根智徳	

隠岐の島町公民館運営審議会委員

(任期：R2.4.1～R4.3.31)

No.	氏名	備考
1	田黒敏子	1号委員（社会教育関係者）
2	黒坂暁子	1号委員（社会教育関係者）
3	安部和人	1号委員（社会教育関係者）
4	佐々木朗	1号委員（学校教育関係者）
5	佐々木貴美枝	2号委員（家庭教育の向上に資する活動を行う者）
6	池田眞理香	3号委員（学識経験のある者）
7	灘脇理恵	3号委員（学識経験のある者）
8	山川由夫	3号委員（学識経験のある者）
9	藤田睦代	3号委員（学識経験のある者）
10	村上操	3号委員（学識経験のある者）

隠岐の島町学校給食センター運営委員会委員

(任期：R2.5.21～R4.4.30)

No.	氏 名	所 属	備 考
1	高 梨 俊 夫	高梨医院院長（西郷小校医）	学校医代表
2	永 海 和 幸	五 箇 中 学 校	学 校 代 表
3	村 上 浩 一	中 条 小 学 校	学 校 代 表
4	齋 藤 毅 一	西 郷 小 学 校	学 校 代 表
5	高 梨 理 恵	有 木 小 学 校	養護教諭代表
6	石 井 知 葉	隠 岐 の 島 町 保 健 課	保健師代表
7	野 津 寿 天	西 郷 南 中 学 校 P T A	P T A 代 表
8	藤 田 裕 介	五 箇 中 学 校 P T A	P T A 代 表
9	村 上 真 敏	有 木 小 学 校 P T A	P T A 代 表
10	松 井 和 正	都 万 小 学 校 P T A	P T A 代 表

V. 組織、予算等

A policy and an enterprise of education

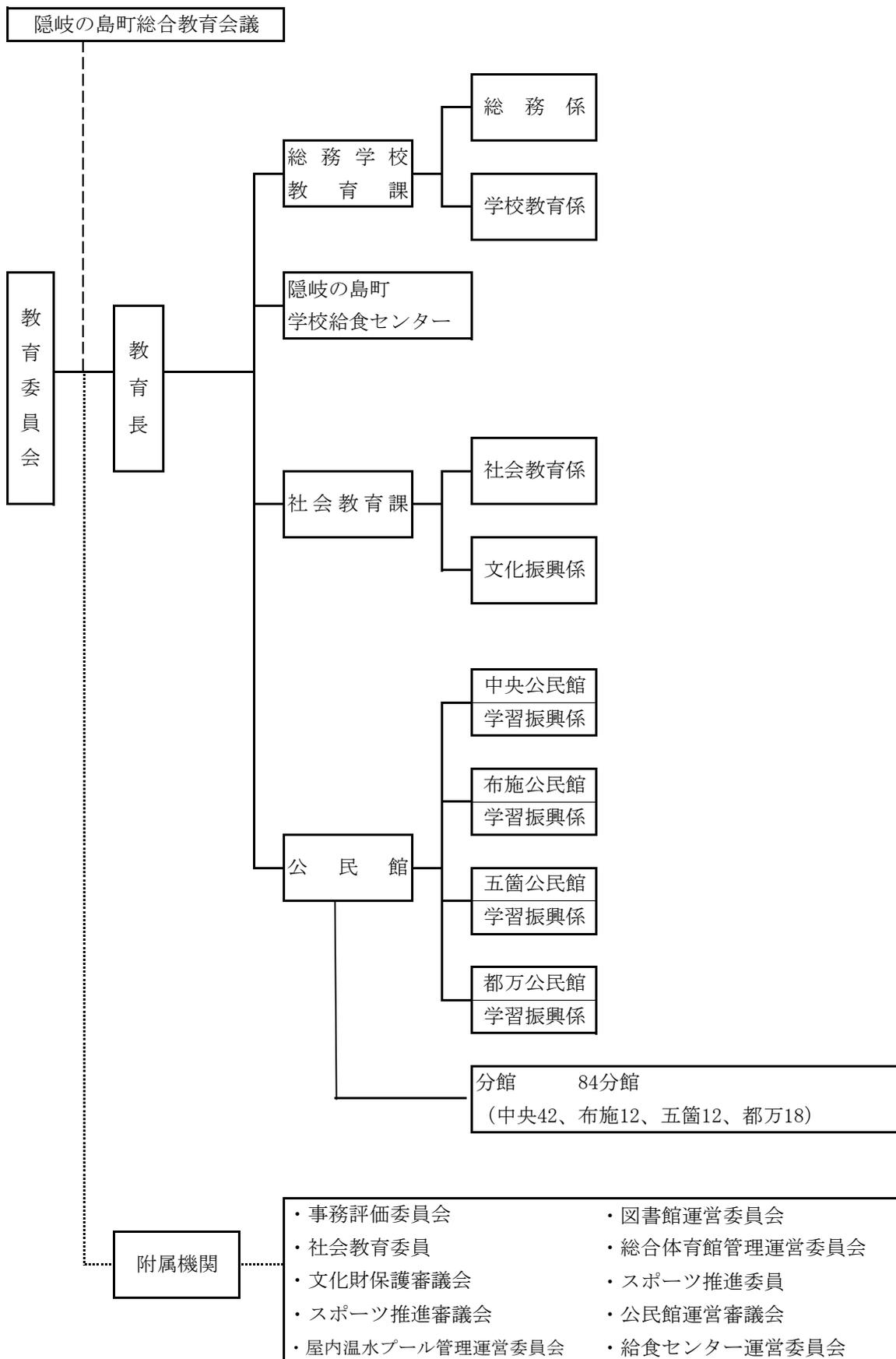
- 教育委員会機構図
- 小中学校一覧
- 児童、生徒数の推移
- 教育予算の概要



つなGO隠岐の島 車いすバスケットボール教室

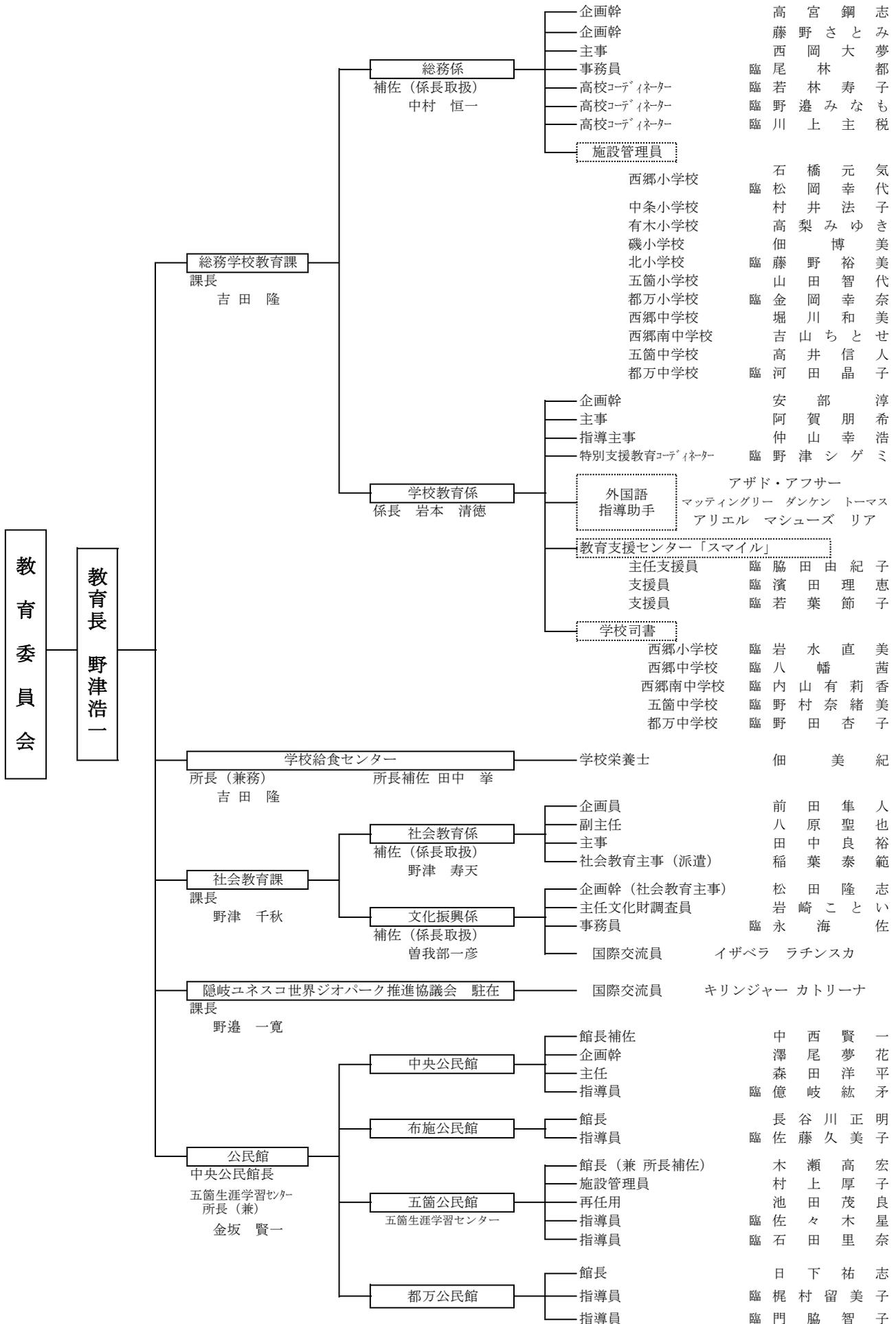
V-1 隠岐の島町教育委員会機構図

(令和2年4月現在)



V-2 隠岐の島町教育委員会職員配置図

(令和2年4月現在)



V-3 隠岐の島町学校給食施設状況

(令和2年5月1日現在)

		学校名	学級数	給食人員 (児童生徒数)	給食人員 (教職員数)	給食人員 (計)	概要
隠岐の島町学校給食センター	小 学 校	西郷小学校	15	311	36	347	所在地 隠岐の島町栄町834番地 開設年月 平成10年6月 敷地 956㎡ 職員構成 所長1名(兼務) 所長補佐 1名 学校栄養士 1名 運用方式 ドライシステム
		中条小学校	6	59	16	75	
		有木小学校	6	40	14	54	
		磯小学校	8	74	15	89	
		北小学校	3	21	9	30	
		五箇小学校	9	83	16	99	
		都万小学校	7	62	15	77	
		小計	54	650	121	771	
	中 学 校 他	西郷中学校	8	149	21	170	※アレルギーの内容により対応が困難な児童生徒数 4名
		西郷南中学校	5	110	16	126	
		五箇中学校	3	42	13	55	
		都万中学校	5	28	14	42	
		隠岐養護学校	9	18	5	23	
		小計	30	347	69	416	
	計	84	997	190	1,187		

V - 4 小・中学校一覧表

所在地及び電話・ファックス番号

学校名	所在地	電話番号(08512)	F A X (08512)
西郷小学校	隠岐の島町西町大城の四3番地	2-0696	2-0447
中条小学校	隠岐の島町原田1445番地	2-0349	2-1402
有木小学校	隠岐の島町有木クラミ口21番地2	2-0784	2-8530
磯小学校	隠岐の島町下西1714番地1	2-0446	3-0056
北小学校	隠岐の島町中村1495番地1	4-0004	4-0025
五箇小学校	隠岐の島町郡67番地	5-2002	5-2857
都万小学校	隠岐の島町都万2362番地1	6-2005	6-2006
西郷中学校	隠岐の島町栄町488番地	2-0178	2-0724
西郷南中学校	隠岐の島町下西154番地2	2-0103	2-7302
五箇中学校	隠岐の島町郡162番地	5-2024	5-2359
都万中学校	隠岐の島町都万2533番地1	6-2170	6-3202

学級数及び児童生徒数・教職員数

(令和2年5月1日現在)

学校名	学級数 (特別支援)	児童 生徒数	教 職 員								計	備考
			校 長	教 頭	教諭・ 講師	養護 教諭	栄養 職員	事務 職員	施 設 管理員			
西郷小	15 (3)	314	齋藤 毅一	宇野 陽子	21	1		2	2	28		
中条小	6 (1)	59	村上 浩一	谷田 真也	5	1		1	1	10		
有木小	6 (1)	40	横田 康	中西 直也	7	1		1	1	12		
磯小	8 (2)	73	元上 治	塚本 潔	9	1		1	1	14		
北小	3	21	佐々木 朗	中村 孝志	4	1		1	1	9		
五箇小	9 (3)	83	林 明 範	池田 哲也	9	1		1	1	14		
都万小	7 (2)	62	熊本直宏	原 正 嗣	8	1		1	1	13		
計	54 12	652	7	7	63	7		8	8	100		
西郷中	8 (2)	150	永島好喜	濱田 耕一	15	1	1	1	1	21		
西郷南中	5	111	有木健二	新谷慎太郎	9	1		1	1	14		
五箇中	3	42	永海和幸	億岐 史人	7	1		1	1	12		
都万中	5 (2)	28	室山美恵子	安野 洋	8	1		1	1	13		
計	21 (4)	331	4	4	39	4	1	4	4	60		
合計	75 (11)	983	11	11	102	11	1	12	12	160		

※教職員数には、産休、育休代替講師及び非常勤講師は含まない

V - 5 児童・生徒数の推移

No.1

学校基本調査（令和2年5月1日現在）

年度 学校名										
	S43年	S48年	S53年	S58年	S63年	H5年	H10年	H13年	H16年	H19年
西郷小学校	694	699	49年統合西郷小 714	742	658	506	370	355	338	301
港南小学校	28	45年分校 13								
飯田小学校	119	88	68	61	62	70	62	59	44	26
大久小学校	64	45	27	19	26	18	27	12	10	10
中条小学校	153	45年統合中条小 125	121	166	144	106	80	70	70	74
中条小上西分校	17									
有木小学校	57	43	45	90	154	185	131	104	98	66
下西小学校	84	83	67	88	81	64	69	81	60	統合 磯小学校
今津小学校	76	38	26	28	29	24	16	20	16	
加茂小学校	92	59	33	37	63	52	53	39	26	
中村小学校	197	48年統合中村小 134	102	106	88	88	57	55	46	34
中村小伊後分校	10									
布施小学校	64	45年統合布施小 59	60	44	27	19	23	28	28	17
布施小飯美分校	6									
五箇小学校	271	46年統合五箇小 170	178	191	165	181	166	146	108	96
五箇小福浦分校	23									
久見小学校	30	20	15	8						
都万小学校	190	45年統合都万小 130	79	112	103	128	108	92	83	79
都万小歌木分校	10									
津戸小学校	48	33	16							
蛸木小学校	45	27	17							
那久小学校	84	51	22	54年統合那久小 13	22	25	24	13	8	4
油井小学校	39	48年分校 11	7							
小学校 計	2,401	1,828	1,597	1,705	1,622	1,466	1,186	1,074	935	791
西郷中学校	469	45年統合西郷中 439	438	419	409	359	263	224	208	190
東郷中学校	123									
中条中学校	157	80	63	63	62年統合 西郷南中 204	236	193	164	143	141
磯中学校	175	120	78	68						
中村中学校	161	89	71	48	56	41	44	28	25	28
布施中学校	52	33	28	24	25	10	7	11	10	17
五箇中学校	216	128	89	89	113	85	86	88	86	61
都万中学校	176	125	91	57年統合都万中 64	73	71	81	76	58	51
那久中学校	64	45	37							
中学校 計	1,593	1,059	895	775	880	802	674	591	530	488
合 計	3,994	2,887	2,492	2,480	2,502	2,268	1,860	1,665	1,465	1,279

No.2

学校名	年度						
	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
西郷小学校	286	273	統合 西郷小学校	293	306	285	284
飯田小学校	23	26					
大久小学校	11	8					
中条小学校	76	80	73	69	65	57	58
有木小学校	71	70	69	80	79	78	76
磯小学校	82	83	94	84	74	73	74
中村小学校	33	33	統合北小学校	45	42	44	52
布施小学校	16	13					
五箇小学校	85	74	85	76	83	76	79
都万小学校	80	71	統合都万小学校	80	79	78	75
那久小学校	6	7					
小学校 計	769	738	744	727	728	691	698
西郷中学校	194	190	188	170	149	146	148
西郷南中学校	118	103	統合 西郷南中学校	118	133	130	119
中村中学校	24	16					
布施中学校	11	9					
五箇中学校	67	53	46	39	34	44	40
都万中学校	50	43	37	35	37	37	42
中学校 計	464	414	378	362	353	357	349
合 計	1,233	1,152	1,122	1,089	1,081	1,048	1,047

No.3

学校名	年度						
	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	
西郷小学校	282	279	290	274	293	314	
中条小学校	54	56	47	50	54	59	
有木小学校	68	73	57	57	46	40	
磯小学校	68	64	68	76	75	73	
北小学校	42	44	39	33	29	21	
五箇小学校	85	80	84	83	85	83	
都万小学校	73	70	70	62	61	62	
小学校 計	672	666	655	635	643	652	
西郷中学校	159	158	151	150	144	150	
西郷南中学校	121	124	124	116	114	111	
五箇中学校	40	38	33	41	35	42	
都万中学校	36	39	39	39	33	28	
中学校 計	356	359	347	346	326	331	
合 計	1,028	1,025	1,002	981	969	983	

V-6 令和2年度教育予算の概要

(予算額 単位：千円)

項	目	本年度		前年度	
		予算額	構成比	予算額	構成比
1. 教育総務費		265,966	11.0%	251,424	13.5%
	1. 教育委員会費	1,190	0.0%	1,199	0.1%
	2. 事務局費	131,256	5.4%	132,612	7.1%
	3. 教育指導費	133,520	5.5%	117,613	6.3%
2. 小学校費		351,426	14.6%	482,796	25.9%
	1. 学校管理費	194,779	8.1%	172,118	9.2%
	2. 教育振興費	34,012	1.4%	29,491	1.6%
	3. 学校施設費	122,635	5.1%	281,187	15.1%
3. 中学校費		264,176	11.0%	103,993	5.6%
	1. 学校管理費	125,821	5.2%	75,945	4.1%
	2. 教育振興費	19,214	0.8%	28,048	1.5%
	3. 学校施設費	119,141	4.9%	0	0.0%
4. 社会教育費		1,286,798	53.3%	792,164	42.5%
	1. 社会教育総務費	53,691	2.2%	50,248	2.7%
	2. 公民館費	80,801	3.3%	77,014	4.1%
	3. 社会教育施設管理運営費	1,131,708	46.9%	633,965	34.0%
	4. 文化財保護費	20,598	0.9%	30,937	1.7%
5. 保健体育費		243,878	10.1%	233,400	12.5%
	1. 保健体育総務費	12,696	0.5%	14,700	0.8%
	2. 体育施設費	47,708	2.0%	43,536	2.3%
	3. 給食センター費	183,474	7.6%	175,164	9.4%
合	計	2,412,244	100.0%	1,863,777	100.0%